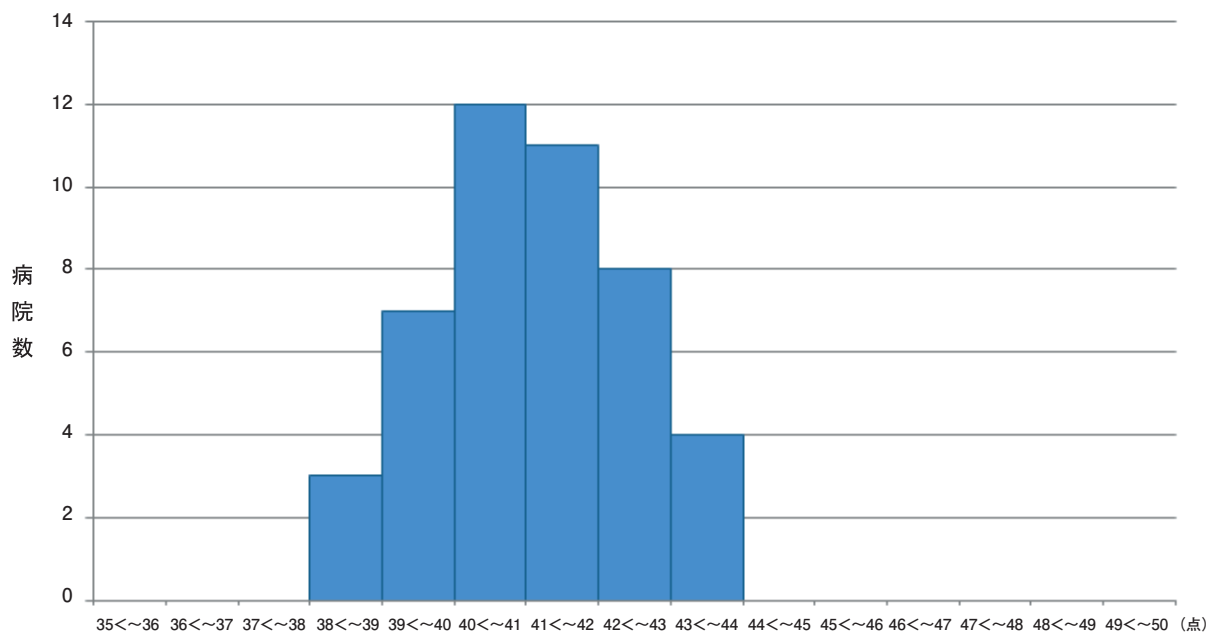


## ■外来患者における総合満足度

病院名	有効回答数	平均値	標準偏差	中央値	病院名	有効回答数	平均値	標準偏差	中央値
旭川医療センター	180	41.2	7.8	40.5	米子医療センター	111	39.5	7.5	39.0
仙台医療センター	470	42.6	7.5	44.0	浜田医療センター	376	41.6	8.0	43.0
水戸医療センター	456	42.9	7.9	46.0	岡山医療センター	450	43.7	7.3	46.0
高崎総合医療センター	284	40.0	8.2	40.0	呉医療センター	582	41.4	8.1	42.0
埼玉病院	638	41.3	7.6	41.0	福山医療センター	144	40.7	6.9	41.0
西埼玉中央病院	367	38.1	8.0	39.0	東広島医療センター	380	39.6	7.8	40.0
千葉医療センター	487	40.5	7.6	40.0	岩国医療センター	493	40.7	7.8	40.0
東京医療センター	851	41.1	7.7	41.0	関門医療センター	370	43.1	7.6	46.0
災害医療センター	579	41.2	7.6	41.0	高松医療センター	77	43.0	6.6	44.0
横浜医療センター	455	40.1	8.2	40.0	香川小児病院	75	42.8	7.5	43.0
金沢医療センター	416	40.8	7.5	40.0	善通寺病院	169	39.6	8.3	40.0
甲府病院	159	41.5	7.8	42.0	四国がんセンター	303	43.2	6.8	45.0
長野病院	293	38.3	8.4	39.0	福岡東医療センター	201	40.7	8.2	40.0
静岡医療センター	304	40.2	7.8	40.0	九州がんセンター	276	41.4	7.7	42.0
名古屋医療センター	493	40.7	8.4	42.0	九州医療センター	616	42.1	7.3	43.0
三重中央医療センター	333	40.2	7.6	40.0	小倉医療センター	194	38.4	8.3	39.0
京都医療センター	694	41.1	7.8	41.0	嬉野医療センター	175	39.8	7.6	40.0
舞鶴医療センター	238	39.2	8.4	40.0	長崎医療センター	479	41.4	8.0	42.0
大阪医療センター	437	42.8	7.2	44.0	長崎川棚医療センター	95	40.4	7.7	40.0
大阪南医療センター	535	41.0	8.0	42.0	熊本医療センター	251	42.1	7.5	43.0
姫路医療センター	360	41.5	7.6	41.0	別府医療センター	270	40.2	7.7	40.0
神戸医療センター	225	40.0	8.0	40.0	鹿児島医療センター	162	43.4	7.4	46.0
南和歌山医療センター	196	42.5	7.4	44.0	45病院全体	15,699	41.2	7.8	41.0



外来患者における総合満足度の平均値

**臨床評価指標の定義とデータ抽出条件の概要**

●データ抽出条件の詳細は「計測マニュアル」を参照のこと。

●データは、「1-2.高齢患者(75歳以上)における褥瘡対策の実施率(カルテ等から把握)」の分子、「2.高齢患者(75歳以上)におけるⅡ度以上の褥瘡の院内発生率」の分子、患者満足度を除き、DPCデータを活用しています。

臨床指標		定義	データ抽出条件	測定期間
<b>病院全体の指標</b>				
1-1. 高齢患者(75歳以上)における褥瘡対策の実施率(DPCデータから把握)	分子	分母のうち、褥瘡対策が実施された患者数	分母のうち、「褥瘡患者管理加算」あるいは「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が算定された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者数(75歳以上)	入院時に「褥瘡」および「褥瘡発生リスク」が認められた高齢患者数(75歳以上)。褥瘡の危険因子該当有は、「栄養失調有」「関節拘縮有」「浮腫有」「日常生活動作の移乗や平地歩行で全介助」のうちいずれか一つ以上該当するものとする。ただし、「片麻痺」「四肢麻痺」「下肢の単麻痺」「無酸素性脳症」「胸部二分脊椎」「腰部二分脊椎」「仙骨部二分脊椎」「二分脊椎」「潜在性二分脊椎」のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者は除外。	
1-2. 高齢患者(75歳以上)における褥瘡対策の実施率(カルテ等から把握)	分子	分母のうち、褥瘡対策が実施された患者数	分母のうち、カルテ等から褥瘡予防対策の実施が認められた患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者数(75歳以上)	入院時に「褥瘡」および「褥瘡発生リスク」が認められた高齢患者数(75歳以上)。褥瘡の危険因子該当有は、「栄養失調有」「関節拘縮有」「浮腫有」「日常生活動作の移乗や平地歩行で全介助」のうちいずれか一つ以上該当するものとする。ただし、「片麻痺」「四肢麻痺」「下肢の単麻痺」「無酸素性脳症」「胸部二分脊椎」「腰部二分脊椎」「仙骨部二分脊椎」「二分脊椎」「潜在性二分脊椎」のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者は除外。	
2. 高齢患者(75歳以上)におけるⅡ度以上の褥瘡の院内発生率	分子	分母のうち、院内の新規発生の褥瘡を有する患者数	分母のうち、褥瘡対策に関する治療計画書において、NPUAPの分類にてStageⅡ以上、もしくはDESIGN評価表でd2以上と判定された院内の新規発生の褥瘡を有する患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者(75歳以上)の在院患者延べ数	入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者数(75歳以上)に当該高齢患者の総在院日数を乗じたもの。褥瘡の危険因子該当有は、「栄養失調有」「関節拘縮有」「浮腫有」「日常生活動作の移乗や平地歩行で全介助」のうちいずれか一つ以上該当するものとする。ただし、「片麻痺」「四肢麻痺」「下肢の単麻痺」「無酸素性脳症」「胸部二分脊椎」「腰部二分脊椎」「仙骨部二分脊椎」「二分脊椎」「潜在性二分脊椎」のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者は除外。	
3. 手術ありの患者に対する肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	分子	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上に該当)	分母のうち、「肺血栓塞栓症予防管理料(弾性ストッキングまたは間歇的空気圧迫装置を用いた計画的な医学管理)」が算定されている、あるいは抗凝固薬(低分子量ヘパリン、低用量未分画ヘパリン、合成Xa阻害剤、用量調節ワルファリン)が処方された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数(リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)の予防ガイドライン』に準じて抽出)。ただし、15歳未満の患者は除外。	

臨床指標		定義	データ抽出条件	測定期間
4. 手術ありの患者における肺血栓塞栓症の発生率	分子	分母のうち、肺血栓塞栓症を発症した患者数	分母のうち、入院後発症疾患名に「肺塞栓症」が記載されている患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数(リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)の予防ガイドライン』に準じて抽出)。ただし、15歳未満の患者は除外。	
5. 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率	分子	分母のうち、術後に大腿骨頸部/転子部骨折を発生した患者数	分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載されており、入院中の2回目以降の手術で「大腿骨頭回転骨切り術」「大腿骨近位部(転子間を含む)骨切り術」「人工骨頭挿入術」のいずれかが施行された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	手術を施行した患者の術後在院患者延べ数	手術を施行した患者数に当該患者の総術後在院日数を乗じたもの。ただし、「けいれん」「失神」「脳卒中」「昏睡」「心停止」「中毒」「外傷」「せん妄その他の精神科疾患」「低酸素性脳症」「リンパ腫」「骨腫瘍」「自傷行為による怪我」のいずれか1つ以上の傷病がある患者は除外。	
6. 退院患者の標準化死亡率	分子	観測死亡患者数	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	予測死亡患者数	患者の年齢や重症度等でリスク調整を行った場合における予測される死亡患者数。	

#### 領域別指標

1. 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率	分子	分母のうち、入院してから4日以内にリハビリテーションが開始された患者数	分母のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が入院日から数えて4日以内に算定された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	急性脳梗塞(発症時期が4日以内)の退院患者数のうち、リハビリテーションが施行された退院患者数	医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞」で、「脳梗塞」の発症時期が急性期(発症4日以内)であった退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定されていた退院患者数。ただし、「入院時併存症」「入院後発症疾患併存」に、「急性心筋梗塞」、「起立性低血圧」、「くも膜下出血」、「脳内出血」、「その他の非外傷性頭蓋内出血」のうち、いずれか一つ以上該当する傷病がある患者は除外。また、「3日以内で退院した患者」「退院時転帰が死亡」の患者は除外。	
2. 急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部CT撮影もしくはMRI撮影の施行率	分子	分母のうち、入院当日・翌日に「CT撮影」あるいは「MRI撮影」が実施された患者数	分母のうち、入院当日・翌日に「CT撮影」あるいは「MRI撮影」が算定された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	急性脳梗塞(発症時期が4日以内)の退院患者数	「医療資源を最も投入した傷病名」が「脳梗塞」で、入院時の「脳梗塞」の発症時期が急性期(発症4日以内)であった退院患者数。	

臨床指標		定義	データ抽出条件	測定期間
3. 急性脳梗塞患者における入院死亡率	分子	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	急性脳梗塞（発症時期が4日以内）の退院患者数	「医療資源を最も投入した傷病名」が「脳梗塞」で、「脳梗塞」の発症時期が急性期（発症4日以内）であった退院患者数。ただし、JCS(Japan Coma Scale)で意識障害のレベルが「0(無)」あるいは「I群:覚醒している」の患者を対象とする。ただし、「脳動脈の塞栓症による脳梗塞」、「脳幹梗塞」、「出血性脳梗塞」のうち、いずれか1つ以上該当する傷病がある患者は除外。	
4. 急性心筋梗塞患者に対する退院時のアスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率	分子	分母のうち、退院時処方でアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数	分母のうち、退院時処方でアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	急性心筋梗塞あるいは再発性心筋梗塞の退院患者数	「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞」の退院患者数。ただし、「退院時転帰が死亡であった患者」「退院先が『他院へ転院(入院)した場合』あるいは『その他(介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所)』」「Killip分類が『Class4』であった患者」のうち、いずれか1つ以上に該当する患者は除外。	
5. PCI(経皮的冠動脈インターベンション)を施行した患者(救急車搬送)の入院死亡率	分子	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	救急車で搬送され、PCI(経皮的冠動脈インターベンション)が施行された「不安定狭心症」や「急性心筋梗塞」の退院患者数	救急車で搬送され、「医療資源を最も投入した傷病名」が『不安定狭心症』『急性心筋梗塞』『再発性心筋梗塞』『その他の急性虚血性心疾患』のいずれかで、PCI(経皮的冠動脈インターベンション)「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈粥腫切除術」「アテレクトミー」「経皮的冠動脈ステント術」を入院当日あるいは翌日に施行した退院患者数。ただし、「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」のいずれかに該当し、入院時のKillip分類が「Class3」あるいは「Class4」であった患者は除外。	
6. 乳癌(ステージ)の患者に対する乳房温存手術の施行率	分子	分母のうち、乳房温存手術が施行された患者数	分母のうち、乳房温存手術として、「乳腺悪性腫瘍摘出術」の「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの)」のいずれかが行われた患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	乳癌(ステージ)の退院患者数	乳房の悪性腫瘍でステージI(TNM分類:「T1:大きさ2cm以下」「N0:領域リンパ節転移なし)で「乳房切除術」あるいは「乳腺悪性腫瘍手術」を施行した退院患者数。	
7. 人工関節置換術/人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後3日以内および7日以内の中止率	分子	分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、手術当日から数えて3日以内および7日以内に抗菌薬投与が中止された患者数	分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、「3日以内」および「7日以内」に中止された患者数。ただし、「2日以内で退院した患者」は除外。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	人工関節置換術/人工骨頭挿入術が施行された退院患者数	「人工関節置換術」「人工関節再置換術」「人工骨頭挿入術」のいずれかを施行した退院患者数。	
8. 人工膝関節全置換術患者の早期リハビリテーション開始率	分子	分母のうち、術後4日以内にリハビリテーションが開始された患者数	分母のうち、4日以内に「運動器リハビリテーション料」が算定された患者数。ただし、「3日以内で退院した患者」は除外。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母	人工膝関節全置換術が施行された退院患者数	「膝関節症の手術有の手術・処置等1なし(DPCコード:070230××010××)」の退院患者数。	

臨床指標			定義	データ抽出条件	測定期間
9. 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療(止血術)の施行率	分子		分母のうち、内視鏡的治療(止血術)が施行された患者数	分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数。	平成22年7月～12月の退院患者
	分母		出血性胃・十二指腸潰瘍の退院患者数	「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数。	
<b>患者満足度</b>					
1. 入院患者における総合満足度	分子		分母の対象患者における10項目の得点を合計した点数	全10項目の各項目の得点範囲は1～5点(1.たいへん不満、2.やや不満、3.どちらでもない、4.やや満足、5.たいへん満足)で、合計点の範囲は1点～50点。	平成22年11月1日～30日の期間における退院患者
	分母		各対象病院における1ヶ月間の退院患者数(有効回答の患者が対象)		
2. 外来患者における総合満足度	分子		分母の対象患者における10項目の得点を合計した点数	全10項目の各項目の得点範囲は1～5点(1.たいへん不満、2.やや不満、3.どちらでもない、4.やや満足、5.たいへん満足)で、合計点の範囲は1点～50点。	平成22年11月1日～11月12日の期間中の任意の2日間に外来を受診した患者
	分母		各対象病院における任意の2日間の外来受診患者数(有効回答の患者が対象)		

